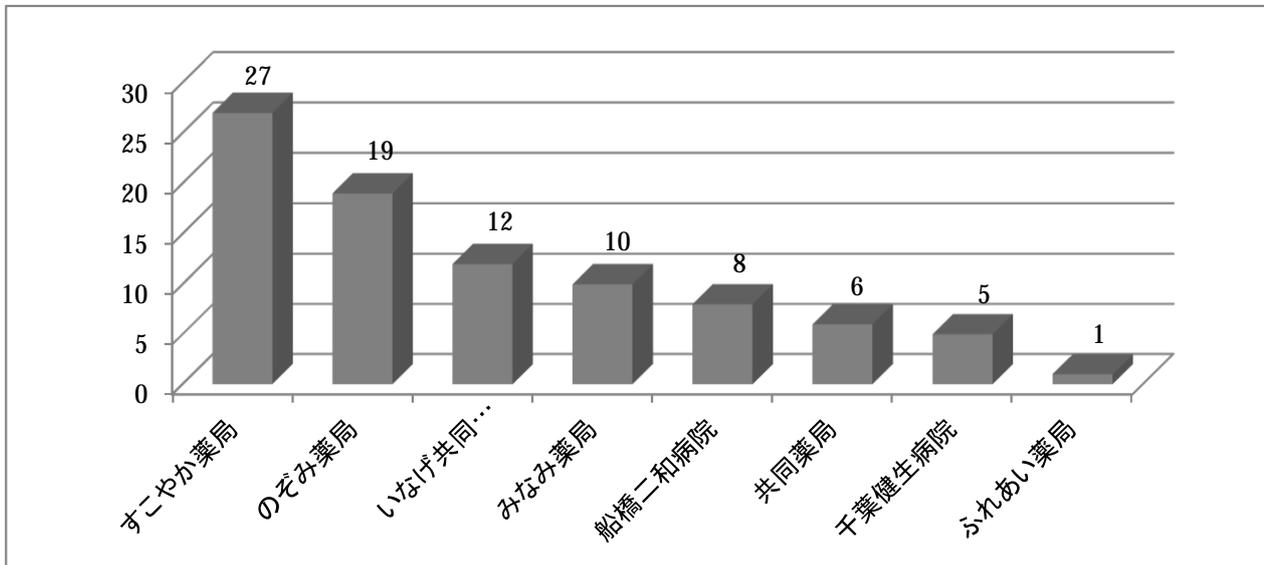


2015年4月～9月の間に、DI委員会で報告された副作用について集計しました。

【今期の集約状況】 8施設より87件の報告がありました。



【添付文書に記載のなかった副作用症例】

起因薬剤	症状	他症例	備考
セレコクス錠100mg	胃痙攣	無	服薬翌日から胃痛、胃痙攣。ただし、胃潰瘍の既往あるためリスクは高かったと思われる。
フェマール錠2.5mg	流涙増加	有	市販後調査で流涙増加、眼の異常感、眼の充血は1件ずつ報告あり。
	めやに	無	
リリカカプセル75mg	吐き気	有	市販後調査で悪心の報告は20件。
バップフォー錠10mg	不眠・イライラ	無	市販後調査で不眠傾向は1件。イライラや焦燥感は無し。
オルメテック錠20mg	皮膚の赤み・ヒリヒリ感	無	皮膚の赤み・ヒリヒリ感の報告なし。光線過敏症は19例。
バラクルード錠0.5mg	全身性掻痒症	有	以前から痒みはあったが、悪化したため報告。掻痒症9件、全身性掻痒症1件。
ラミクダール錠小児用2mg	動機	有	メーカー報告あり。
ニフェジピンCR錠20mg	尿漏れ	無	先発メーカー報告なし。
タミフルカプセル75mg	しびれ	無	併用薬のセチリジンも被疑薬（中止の確認はタミフルのみ）しびれの報告は無く、筋肉痛は1件。
	筋肉痛	有	

【副作用の重症度が高かった症例】 グレード3の症例が1件ありました。

<イスコチン錠による肝機能値異常>

リファンピシン、イスコチン、ピラマイド、ストレプトマイシンにて結核療法開始し、7日目にストレプトマイシンからエブトールに変更。10日目に肝機能値異常により4剤中止。16日目にリファンピシン再開、20日目にエブトール再開、25日目にイスコチン再開したところ、30日目に肝機能値異常となる。イスコチン中止。

内服開始からの日数	6	10	16	24	30	36
AST(IU/L)	37	764	54	36	516	37
ALT(IU/L)	41	503	145	37	215	136

【副作用報告が多かった薬剤】

商品別分類

商品名	成分名	件数	症状
アトルバスタチン (リピートル含む)	アトルバスタチン	5件	CPK上昇、掻痒感、筋肉痛、めまい、全身倦怠感・不眠・口渇
プラバスタチン	プラバスタチンNa	3件	関節痛、筋痙攣

薬効別分類

高脂血症用剤	12件
血圧降下剤	8件
解熱消炎鎮痛剤	5件
糖尿病剤	5件
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	5件
その他の中枢神経系用薬	4件
利尿剤	4件
合成抗菌剤	4件

【症状別分類】

胃腸（下痢、嘔吐、吐き気、悪心、便秘、口渇、口内炎など）	30件
精神・神経（めまい、頭痛、せん妄、ふらつき、関節痛、倦怠感など）	25件
皮膚（発疹、掻痒感、光線過敏症など）	21件
肝・胆（肝機能障害など）	9件
循環器（頻脈、動機など）	8件
骨格筋（関節痛、筋肉痛、筋痙攣）	5件
腎・泌尿器（尿漏れ、血尿、尿閉）	3件
検査値異常（尿酸値異常、CPK上昇）	3件
眼（めやに、流涙増加）	2件
呼吸器（咳嗽、嘔声）	2件
血液（白血球減少）	1件
浮腫	1件
過敏症（ショック）	1件
耳（聴覚異常）	1件
その他（偽アルドステロン症、女性化乳房）	2件